



5月26日（日）『宝木校区町民運動会』が開催されました。

# 宝木地区公民館だより

春開催、宝木校区町民運動会  
 鳥取市立宝木地区公民館  
 館長 吉田和行

運動会は春か秋か、田植時期か稲刈り時期か、思案の結果、本年令和元年度より春（5月26日）の開催となりました。この変更はひとえに地区の皆様のご理解により実現でき、大会長として心より御礼申し上げます。

春開催は、文科省により学習指導要領が改訂され、カリキュラムの変更が必要と、気高中学校区の全四小学校よりの強い要望に副い、各部落区長様を始め関係の皆様による真摯なるご協議の賜物です。毎年一月で新任されます各部落区長様、各専門部委員様の任期と、毎年四月より年度で働く小学校、保育園、支所、市立地区公民館の間での擦り合わせも必要でした。結果、各部落より選出いただく地区公民館の専門部委員様

の任期を区長様の任期と合わせ、一月より十二月末までとし、年度始めの繁忙対応が図られました。

年度制の公的機関とは少なからずの違和感は拭えませんがご理解お願い致します。今後も宝木校区町民運動会は春開催となります。何卒引き続きのご協力ご支援宜しくお願い申し上げます。

## 小学校最後の運動会

水田 大也

小学校生活最後の運動会のことです。ぼくは、6年間赤組や白組に分かれ、いままでがんばりました。そして、今年ぼくは赤組の応援団長になって、みんなといっしょに優勝めざして厳しい練習にたえぬきました。特に、応援練習では、のどがカラカラになるまで練習し続け、本番でも大きな声が出せました。

いよいよ始まる本番は9月から5月になったので、いつもよりはすずしいかと思いましたが、予想に反してかなり暑かったのをよくおぼえています。

一番最初の種目は応えん合戦です。暑い中、赤組みなで全力の応えんをすることが出来ました。

運動会の中で一番いんしゅうに残っているのが班対抗リレーです。赤組は4班ある内の1班と2班でした。1〜3年と4〜6年ではバトンやルールがちがったけど、2班全員が全力で走りぬきました。ほとんどの班が来たときにぬかされていた班をぬかすことが出来てうれしかったです。結果は2位とおしかったけど、赤組で1、2位とれたのと全力で走りぬくことが出来たので良かったです。

赤組みなで頑張った結果は、見事、赤組の優勝でした。小学校生活最後の運動会にすつと優勝していた白組のれんぱを止められてうれしかったです。

## 健康部

### 環境視察に参加して

手崎 雅裕

今回は、鳥取県境港市昭和町、三光株式会社の潮見工場視察に参加しました。

この会社は、山陰最大の産業廃棄物を限りなくクリーン処理する会社です。



まず、廃棄物運搬計測。次に、リサイクル選別、鉍物湯水溶性切削油の前処理、感染性医療廃棄物処理。その後、焼却を行うロータリー900℃〜1100℃の焼却炉で混焼します。

その他、工場内の排水は外に出さないようにしたり、余剰蒸気を利用した自家発電設備による工場の総電力の50%削減可能等、環境に配慮しています。これら廃棄物を処理する色々な工程を見学し、ここまでしなければ処理できないのか、産業廃棄物というものは、時間、設備、労力を必要とする事が理解できました。

私達が、日常生活する中で出るゴミへの考えが少し変わりました。

最後に使用した後、捨てて産廃、分別して資源、限り有るエネルギー源です。考えて生活してはどうでしょうか。

### 陶芸教室への参加を続けて

上田 尚子

陶芸教室に行かない？と誘いを受けて、参加を始めて5年近く経過しました。日常生活では土と触れ合う機会がほとんどない中で、土をこねて形成

して作品を作りだしていく時間が楽しく、参加を続けています。決して器用ではないので、おざっぱな作品の積み重ねですが、失敗しても優しい先生のサポートで魔法のように素敵な作品に仕上がります。だから安心して作ってみたい作品に挑戦することが出来るのです。



釉薬を付けて焼きあがった作品に出合う瞬間は、陶芸ならではの何とも言えないドキドキとした時間です。また、教室に参加される幅広い年代の地

域の方とお話をするこも出来、何気ない会話を楽しみながら陶芸を楽しむ素敵な教室です。今度はどんな作品を作ってみようかなと考えながら、毎回の教室を楽しみに出来る陶芸教室が長く続いていくことを願っています。

### 梅干しひっくり返して参加して

上根 美智子

子どもの頃から家の周りには、梅の木がたくさんあり、祖母は実を収穫して「体に良いから」と私たちの健康を考えて梅干しにして食べさせてくれました。

五倍酢で減塩(10%)の梅干し漬けの講習があると聞き、「梅なら家にあるので、挑戦してみよう」と参加してみました。

講習では、先生のわかりやすく丁寧な説明と、一緒に参加した仲間の方たちとの楽しい作業により、「手間がかかり大変だ。」という私の意識も一気に

変わりました。

梅も青梅より黄梅がよく、塩漬けをして重石を置き、涼しい場所へ保存し梅酢が上がってきたら三日間土用干しをします。そのとき、ひとつひとつ丁寧にひっくり返すなど皮が剥がれないように気を使いました。



作業中は、とても良い梅の香に包まれ懐かしい気持ちになったと同時に、きれいに並べられた梅をみると、なんだか可愛らしくも感じました。

今は、シンと一緒に漬けた梅

がぼったりと柔らかな状態になりました。これを色々な料理や隠し味にも使っていきたいと思っています。

### じげ自慢

水尻池

山本 伸広

水尻池は、縄文時代にもともと海岸の小さな入り江に砂丘が形成されて潟湖(せきこ)になりました。さらに明治時代、山陰本線の工事で池の南側が一部埋め立てられ、現在の形になったとの事。昭和の終り頃まで、季節的潟湖(せきこ)として池の水を排水ポンプで海へ排水し、稲作が行われていましたが、現在は通年池となっています。

以前は、池の湖面が低いために流出する河川が無い事もあり、水質があまり良くなかったのですが、近年の様々な整備により水質も改善されました。



現在池は、さまざまな野鳥の飛来地になっていて、多くの種類を見ることが出来ます。マガモ・オナガガモ・ダイサギ・アオサギ等、稀に白鳥も越冬に飛来します。春夏秋冬と四季折々の景色を楽しませてくれる水尻池、これからも、この景観がずっと守られていく様にと強く思います。



# 宝木っ子まつり

## IN 船磯 7月14日

宝木っ子まつりに参加して

平尾めぐみ

長女が保育園年長だったため家族で初参加してみました。まずは砂像づくりからスタート！砂の塊から立体アートを作ることのなんと難しいこと…。思ったより砂が崩れやすく修正はさらに大変でした。出来上がりの作品を見ると、気になったのは元気100倍アンパンマン！大人も大好きなヒーローです♪

水鉄砲ゲームでは、長女と長男が参戦！お父さんの的確な指示であっという間に終わりました。

魚のつかみ取りでは、子どもたちが魚めがけてドボン！3匹捕まえた後は夏の定番スイカをパクリ！「じいちゃんもどうぞ。」みんなで食べるとさらにおいしいね♪

小雨の降る不安定な天候の中、スムーズに行事進行して下さった実行委員の皆様、ありがとうございました。大人も子供も楽しめる宝木っ子まつりでした。



★砂像作り★



★水鉄砲ゲーム★



宝木っ子まつり

谷口 奈央

7月14日に船磯海岸で、宝木っ子まつりがありました。砂像作りや魚のつかみどりなどをしました。砂像作りでは、私たちのグループは、ミッフィーを作りました。耳が長かったので、たおれないようにけするのがむずかしかったです。

私が特に楽しかったのは、魚のつかみどりでした。魚は、ぬめぬめしてつかみにくかったけど、上手につかめてよかったです。来年も参加したいです。



★魚のつかみ取り★



### 編集後記

令和第一号の宝木地区公民館だよりが完成しました。この記念すべき第一号の作成に携わることができてとても光栄に思います。原稿をお寄せいただいたみなさま、編集にご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。  
地区公民館では、これからもいろいろな事業が盛りだくさん。みんな揃って参加して、楽しい地区公民館になりますように。

## 第39回 宝木地区文化祭のお知らせ

### 10月26日(土)

(午後:作品展示のみ)

### 10月27日(日)

勤労者体育館及び宝木地区公民館敷地内において宝木地区文化祭が開催されます。

作品展・芸能発表・フリーマーケット・野菜市など賑やかなイベントに参加していただける方、グループを募集中です。お気軽にお問合せください。